

○議長 横尾 武志君

次に6番、本田議員の一般質問を許します。本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

6番、本田です。一般質問通告書に沿って質問させていただきます。

私、昨年9月に、町議会議員となりまして初めてこの議会の場で質問させていただいたんですけども、あれから僅か1年で、よく、人生の中では上り坂、下り坂、まさかがあるという話をよく聞きますが、本当にまさかだというふうに実感をいたしております。いまだ収束の見えない新型コロナウイルス感染症によりまして、小・中学生の日常が一変をいたしました。大人も手探り状態ということでございますので、子供にとっては、なおかつ大きな負担になった手探り状態の中で、自粛期間中の自宅学習あるいは夏休みの短縮、児童・生徒は今までに経験したことのない新たな学習方法に取り組みなければならないというような現実が起こってまいりました。

そこで、自粛期間中から現時点までの小学校、中学校の子供たちの対応についてお尋ねをしたいと思いますが、先ほど内海議員のほうから教育長にということで、教育長のほうから御回答いただいた大枠のお話もありますので、もう少し具体的なことをです、お尋ねして、御回答いただければなというふうに思っております。

まず、それぞれ学校にはカリキュラムというのがありまして、どの時点まで、どのくらい進むというものがあるかと思っておりますけれども、まず前年度なんですけれども、急遽、予測していなかった学校の休校等によりまして、学校関係者の皆様には、プリント学習をはじめ学習方法を多様に変更される中で御対応をしていただきました。臨機応変な対応に、深く関係各位の皆様には御感謝申し上げるとともに、そのような中で、前年度に予定をされておりました学習の内容、どのような形の中で遅れの分を解消されたのかということ、具体的に少しお聞かせいただければなというふうに思います。よろしくお願ひします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三樹 賢二君

まず、前年度末の未履修がどの程度あったのかということについて、先にお答えさせていただきます。3小学校については、未履修の内容はありませんとの報告を受けております。中学校は、現2年生が1年生のときの分の14時間、それから3年生が2年時分の18時間について昨年度末の未履修がありましたが、現在、速やかに履修を終えているところでございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今、前年度の分ということでお尋ねをしたことに御回答いただいたわけですが、収束をすと思うておりましたコロナウイルスは拡大の一方ということで、新年度になりましてもコロナ感染症は収束せずに、新たな学期を迎えたということで、学習内容をですね、余儀なく変更されたものだと思っております。特に、新たに進級をした、小学生から中学生になった、あるいは幼稚園、保育園から新1年生になったというようなことで、非常に環境が変わり、担当していただいた先生方も替わりということで、子供たちは非常にストレスを感じていたのではないかなというふうに思っております。

この新年度がスタートした時点から、やはり今年度も課題が山積みする中で、とりわけ授業時間の確保には非常に御苦労なさったんだろうというふうに思います。このコロナ禍で思うように授業時間が確保できずに、先生方がどんなふうに御苦労されて、どのような形の中で授業を進めてということで、なかなか保護者には見えにくい部分も多少なりともあるというふうにお聞きいたしております。保護者の不安を払拭する意味でも、本来コロナとかがなければ、どんなふうに今2学期がスタートしていたのかというようなことを含めて、今現在、遅れているのか、そうじゃないのかというようなところの詳細な部分をお聞かせいただければなと思います。よろしくお願ひします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三榎 賢二君

まず、小学校と中学校で少し違いますが、小学校でもまた、学年によりそれぞれの授業時数が違いますので、いろいろあるんですけども、小学校6年生と中学校3年生を例にとって説明させていただきます。

小学校6年生では2学期が始まる時点で、授業時数がマイナスの90時間というようになっています。これは3週間の遅れということになります。しかし、小学校では算数を中心にして、国語も授業が遅れないように、教科に軽重をつけて実施してきました。したがって現段階では、算数と国語はそれほどの遅れはありません。他教科については、90時間分の授業時数が足りない分の遅れがありますので、2学期中には遅れを取り戻していけるという状況に、今現在なっております。

中学校3年生は授業時数がマイナス95時間となっておりますので、およそ、これも3週間遅れて授業が進んでいるということになります。そこで、同じように2学期、授業時数を増やしておりますので、2学期中には中学校3年生の遅れは取り戻せるというふうに考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今の教育長の御回答を聞きまして、非常に、教科によってもバランスが取れていなくて、正常に進行しているもの、そうじゃないものがありますよということで御回答いただいたんですけども。特に今年、夏休みの短縮ということで、芦屋町は昨年から短縮ということで、1週間程度早く学校が始まるようになりましたけれども、今年はさらに夏休みのスタートが遅く、始まりが早いということで、非常に夏休みの期間を活用されたんだろうと思いますけれども、子供たちにとっては非常に暑い中での通学ということで、負担もあったのかと思いますけれども、この夏休みにですね、通学したことによる学習時間の確保、これがどのくらい子供たちに有効に活用したのかなということで、もし検証できるようなものがあるのであればお聞かせください。お願いします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三柵 賢二君

子供たちの状況は、こちらが思っている以上に元気に学習活動を行っていました。これは当然、エアコンの設置等の施設整備をしていただいたというところが大きいと思います。

夏休み短縮における学習の効果ということでいけば、最大の効果は、不足していた授業時数を約2週間分、この夏休みの短縮で取り戻すことができました。授業時数の確保、これが学習の最大の効果でございます。

以上です。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

そういった形の中でいろいろとケアはなさっていると思いますけれども、そうは言ったものですね、対面による授業時間が大幅に減少した中で、指導される先生方と子供たちということの中では、学習面で遅れがやっぱり発生している子供さんがいらっしゃるのではないかなというふうに思っております。こういった児童・生徒へのですね、ケアについては、具体的にどのようなことを御計画されて対応されたのかということをお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三柵 賢二君

令和2年第3回定例会（本田浩議員一般質問）

芦屋町の各学校では学びの保障を最優先事項として取り組んでいます。学習の遅れが見られる児童・生徒に関しては、どのような場合でも、少人数指導等のきめ細かい指導や補充の時間等を活用して、学力の定着に取り組んでいます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今まで、子供たちですね、学力面のことについてお尋ねをしたんですけども、子供の成長ということですから、学力面だけではなくて心のことでありますとか、あるいは体力のことでもありますとか、バランスよく子供たちの成長を見守っていかないといけないだろうというふうに思っておりますが。

前年度から長期の休校、それから夏休みの短縮ということで、非常に生活のリズムに変調があったということで、子供たちの中にはですね、いわゆる家庭環境、学校の環境が一変したということで、今までとは大きな違いが発生したことによって体に変調を来した子供がいたのか、いなかったのか。もしたとすれば、学校としてですね、どのようなケアをしたのかということをお尋ねしていきたい中でですね、先生方も非常に御苦労されていることは十分あるというふうに思っておりますけれども、特に、暑い中でのマスク生活を余儀なくされておきまして、子供たちの通学路の指導をしているときも、非常に、マスクをして、暑く、汗をかきながら学校に通っている子供たちにも声かけをする中で感じるんですけども、学校に出校はしたものの、体調に変化が起りまして保健室で一日を過ごしたとか、あるいは学校には行ったんですけども、体調が悪くて早退をしたというような児童・生徒ですね、こういった子供たちが例年に比べて、どのくらいどうだったのかということで、もし比較があるのであればということをお聞かせいただければというふうに思っております。よろしくお願いします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 新開 晴浩君

小学校、中学校別に答弁させていただきます。

まず小学校では、体調変化を訴え保健室で対応をした児童は例年に比べ若干増加しています。ただ、その理由としては、このコロナ禍にあつて児童が体調不良を担任に訴えた際、担任一人に判断させず、養護教諭や管理職を含め複数で判断し、大事を取って保健室利用を促した事例が多かったことが影響していると捉えております。なお、体調変化を訴え早退した児童は例年とほぼ同程度です。また、新1年生においても同様でございます。

令和2年第3回定例会（本田浩議員一般質問）

次に中学校では、体調不良での保健室の利用者数は例年とほぼ変わっておりません。ただ、7月後半から8月下旬にかけて、夏の猛暑で疲れている様子は見られます。例年であれば、8月は部活動や補充学習等があったとしても午前中に終えておりましたが、今年は終日登校・授業となったため、放課後の部活動の際に、もう最初から疲れが見られているということが見受けられます。なお、新1年生においても同様ですが、体調不良で保健室を訪れる人数は1年生が最も少ない状況です。

以上です。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今年はコロナと併せまして異常な暑さということで、非常に子供たちにとりましても過酷な環境なのかなというふうに思いますが、引き続きですね、子供たちの様子を見守りながら、御対応いただければなというふうに思っております。特に子供たち、体調が悪くても無理する子供もいるかもしれませんので、体調が悪いときは遠慮なく申し出をして、保健室での対応もいいよということで、子供たちにそういったことの申し出をしてもらいやすい環境づくりを、ぜひ努めていただければなと思っております。

そういった子供たちですね、体調の変化を考える中で、この夏の暑さは非常に厳しくて、マスクをつけての通学ということで非常に息苦しさを感じながら、困惑した状況があったのではないかと思っております。先日、テレビ・マスコミ等々で報道がございましたコロナ対策の一環といたしまして、児童・生徒たちが雨傘を差して通学をするという施策が報道されておりました、この施策が非常に好調であるということがマスコミの中でも報道されておりましたし、また、子供たちのインタビューの中でも「非常に楽だ。」というような回答もあっておりました。

もう御存じの方たくさんいらっしゃると思いますが、傘を使用することによって一定の距離が保てること、また、夏の暑さが遮熱され非常に効果的であること、また、このことによって、マスクが外せるようになって、解放感が得られるというようなことが報じられておりました。私なりに、映像を通して子供たちの通学風景を見たときに、少し負担がないなというふうに感じ取ることができました。現在、芦屋町の子供たちの通学風景を見ますと、時折ですね、傘を差して通学している子供を数人は見かけますけれども、芦屋町全体としての取組ではありませんので、この傘を使ったことによる、こういったメリットを考える中で、芦屋町としては通学を検討されたのかどうかについて、お尋ねをいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 新開 晴浩君

学校における児童・生徒の感染症予防対策を検討する中で、今おっしゃったような筑後市や愛知県豊田市のニュースを聞き、人との距離の確保と熱中症予防の観点から、日傘の取組は一定の効果があると考えております。芦屋町でも、県の補助事業を活用し、コロナ対策で必要な備品や消耗品を購入する際、傘の購入・配布も案の一つとして検討しました。その検討の結果、芦屋町では別の備品、空気清浄機やパーティション等の購入を優先したため、今回は日傘の購入・配布には至りませんでした。

以上です。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今後もコロナ対策ということで、長期が考えられる中ですね、有効な策ということでテレビ等々を通じてでも結構ですが、他市町村の参考になるようなものがあれば、ぜひまた御検討をいただければなというふうに思って、次の質問をさせていただきます。

この、ステイホームということで家から出ることが減りまして、中学校では春の体育祭が中止になりました。また、山鹿小学校では浜運動会が中止ということで、なかなか体を動かす機会が減って、体力の低下というのが否めないところだろうというふうに思っております。

先日、テレビあるいはインターネットで「子どもロコモ」というのが、報道であっております。これは御存じの方もいらっしゃると思いますけれども、通常は子供にはなくて、加齢、年齢とともにですね、高齢化してということの中で、肩や肩甲骨、この回りがですね、非常に動きにくくなっていくということで、ロコモティブシンドロームということで、通常、子供にはないようなものが、同じような症状が子供に起こっているというようなことの報道でありました。一例としましては、画像も報道であっておりますけれども、何も段差のないところで幼稚園生が転ぶ、あるいは鉄棒から落下をする、あるいはジャングルジムから落下をするというようなことで、先生方がコメントされてた中では、「通常こんな時期に、こういった子供たちがこけることはないんですよ。」というようなことのお話もあっておりますけれども、非常に体力が落ちてきているだろうというようなことのコメントがあっております。また保護者の中には、非常に体力が低下をして、この暑さとともにですね、登下校中に倒れたりはないんだろうかと。特に、低学年の子供さんをお持ちの保護者の方には、そういった御心配も現実の問題としてはあるようです。走るタイムも、少しいつもよりも遅くなるというようなことのお話のようでございます。

そういったお話なんですけれども、町内に目を向けますと、先ほど質問の中で御回答いただいたのと多少かぶるところはあるんですけれども、学校行事で考えますと、小学校、中学校の運動

令和2年第3回定例会（本田浩議員一般質問）

会等々が、通常であればこの9月から10月にかけて、いろいろな体育行事が目白押しになってくるということの時期ではあります。そういったものがあれば、当然それに向けての練習ということで体を動かすということで、非常に子供たち、この秋の非常にいい気候の中で体力増強という時期だと思っておりますけれども、これがなかなかうまくいかないということの中で、先ほど、違うものを種目として検討しておりますというような御回答をいただいたかと思うんですけれども、そういった中身を少しお聞かせいただきたいということで、お願いいたします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三柵 賢二君

スポーツ大会という名目でやる種目でございますが、基本、3密を避けるというのが大前提です。それと、授業時数の減の中から、できるだけ体育の授業の中でできるということを鑑みまして、基本、徒競走、密接を避ける競争遊技、それと、小学校でいけば6年生のリーダーシップ、中学校でいけば3年生のリーダーシップを発揮する応援合戦、そういったものを今のところ内容として考えております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

このコロナ禍ということでございますので、種目を限定する中で、スポーツ大会という名の運動会に代わるようなものを実施していくということでございますが、実際、これ実施されたときにですね、非常にやっぱり子供さんたちの発表の場でありますので、保護者の方々はそういった行事に参加をして、応援をしたいというのが親心だと思いますけれども、こういった行事が実施された際に、そういった子供たちの姿を見るということについて、どういった状況で検討されているのかをお尋ねしたいと思います。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 新開 晴浩君

まず、今年の3月に実施した卒業式や4月に実施した入学式では、密を避けるために来賓や地域の方々の出席を御遠慮いただきました。さらに、保護者の出席も人数制限をさせていただきました。このたびのスポーツ大会においても同様に、大変申し訳ないのですが、来賓や地域の方々の出席を御遠慮いただく予定としております。また、保護者の出席につきましても、芦屋小学校と芦屋東小学校では保護者2名、山鹿小学校と芦屋中学校では保護者1名に人数制限をさせてい

令和2年第3回定例会（本田浩議員一般質問）

ただく予定です。

以上です。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今、御回答いただきました3小学校、それから中学校ということで、行事の際に参加できる保護者の人数が1名であったり2名であったりということなんですけれども、この違いというのは、こういったところから算出されて区別をされているのかをお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

学校教育課長。

○学校教育課長 新開 晴浩君

まず、スポーツ大会の実施の可否について教育委員会と学校長で協議を重ね、さらにPTA会長など保護者の意見を集約しました。PTAからは、「実施することを第一に考えてほしい。コロナ感染防止対策を講じる上で、結果として無観客大会になっても、我々保護者が見に行けなくても構わない。子供たちに思い出をつくってあげてほしい。」との強い要望をいただきました。

これらを踏まえ、教育委員会としてスポーツ大会実施を決定しましたが、実施する以上は、でき得る限りの感染防止対策を講じる必要があります。そこで、各学校のグラウンドの保護者スペース面積を計算し、人との距離を確保できる収容可能人数を算出しました。その結果として、芦屋小学校と芦屋東小学校では保護者2名、山鹿小学校と芦屋中学校では保護者1名となりました。特に、山鹿小学校と芦屋中学校は児童・生徒数が多いため、このような結果となりました。

以上です。

○議長 横尾 武志君

本田議員。

○議員 6番 本田 浩君

今、御回答いただいた内容からですね、子供たちの体力の低下に対応して、限られた時間の中で、限られた環境の中で、最大限の配慮がなされているのだろうというふうに感じております。引き続き、バランスのよい御指導をいただくとともに、また、これから例年、夏の疲れが全体的に出る頃と思いますけれども、今年は特に、さらなるコロナの疲れというのが出てくる頃かと思われます。学校関係者に感謝のメールを送りまして、質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

以上で、本田議員の一般質問は終わりました。